

新風

平成25年10月1日
多治見市立陶都中学校
No.11

素晴らしい体育祭の取り組みと当日の姿

体育祭直前の全校練習後に、「教室環境全学級〇」のアナウンスに全校で拍手をした瞬間に、14日の体育祭が素晴らしいものになると確信しました。練習などで空いた教室環境をきちんと整えるという取り組みです。「日常生活から向上して、それを体育祭につなげたい」という生徒会長をはじめ前期生徒会役員の想いを全校で達成した瞬間でした。大切なのは、日常生活がきちんとしてこそその行事であるという意識です。それを、陶都の生徒はきちんと大切にして、当日を迎えることができたわけです。体育祭当日も暑い中でしたが、本当に思い出に残る素晴らしい行事ができました。ご参観ありがとうございました。



健康・体力づくり

多治見市教育委員会

さる8月24日(土)文化会館にて、子どもの健康・体力づくりをテーマに「教育フォーラム2013」を開催しました。その中で「生き抜く力を育むための体トレ」と題して、岐阜大学教育学部准教授の春日晃章氏の講演がありました。日本人の健康・体力の現状についてと、健康・体力は人が生き抜くための「心」「社会性」「学力」に大きくかかわっていることや、今の子どもたちには「群れて遊ぶ」ことが必要であることを強調されていました。

参加者のこの講演についてのアンケートの一部を紹介します。

- ・ 現在の子どもの体力の危機を感じました。子どもたちを取り巻く環境を、学校、家庭で整えていく必要があると思いました。昔の子どもたちのような笑顔が遊びの中で戻ってくるといいなと感じました。
- ・ 子ども体力の低下が問題であり、体力向上が必要であることがよく分かりました。運動遊びをする場、時間が年々減ってきていることが原因であることもよく分かりました。運動の苦手な子に対し、学校生活の場で、楽しく運動できる工夫をする必要があると思いました。
- ・ スポーツをすることはもちろんですが、親子でスポーツを見ることや、子どもにスポーツの話題を話すだけでも、効果があることが分かりました。

※月の予定に毎日の部活や時間割が入っているとよいとお声を頂きました。その方が便利であると考え、以前の形式にもどしました。また、何かご意見があれば些細なことでも結構ですので松澤までご連絡ください。